

令和元年

壱岐市議会定例会 6 月会議

行政報告

壱岐市

目 次

1. はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) 九州地方知事会議・九州地域戦略会議の壱岐市開催について	1
(2) まちづくり協議会の推進について	2
(3) SDGs（エスディージーズ）の推進について	3
2. 災害復旧	
(1) 農地・農業用施設等災害復旧について	4
(2) 公共土木施設災害復旧事業について	4
3. 交流人口の拡大	
(1) 観光振興について	4
(2) 壱岐サイクルフェスティバル2019について	6
4. 産業の振興	
(1) 農業の振興について	7
(2) 水産業の振興について	8
(3) 商工業の振興と雇用対策について	9
5. 市民	
(1) 市税等の収入状況について	10
(2) プレミアム付商品券事業について	12
(3) 壱岐こどもセンターについて	12
(4) 壱岐葬斎場の改築について	12
6. 教育	
(1) 教育施設の環境整備について	13
7. 防災、消防・救急	
(1) 防災対策について	14
(2) 消防・救急について	14
8. 議案説明	
(1) 補正予算について	15
(2) その他の議案について	15
9. おわりに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15

行政報告

令和元年壱岐市議会定例会 6 月会議

1. はじめに

本日ここに、令和元年壱岐市議会定例会 6 月会議にあたり、前会議から本日までの市政の重要事項、及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げます、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、令和元年春の叙勲が発表され、本市から 4 名の方が受章されております。元公立高等学校長の いちやま ひろやす 市山 寛康 様が瑞宝小綬章を、多年にわたり保護司を務めておられる おぼた えいじ 小畑 英治 様が瑞宝双光章を、元国立療養所壱岐病院事務長の しながわ あきひこ 品川 昭彦 様が瑞宝双光章を、元石田町消防団副団長の くぼら よしふみ 久原 芳文 様が瑞宝単光章をそれぞれ受章されました。今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、この度の栄誉を心からお慶び申し上げます。

(1) 九州地方知事会議・九州地域戦略会議の壱岐市開催について

6 月 4 日～5 日に現在の会議形態となってからは初の離島開催となる第 153 回九州地方知事会議及び第 35 回九州地域戦略会議が壱岐の島ホールをメイン会場に開催されました。九州山口 9 県の知事又は副知事、九州経済連合会をはじめとする経済団体の役員等約 140 名の皆様がお来島され、「九州はひとつ」の理念のもと、政策連合による広域的課題の解決や取組等に向けた重要な協議が行われました。

当日は、保育所及びこども園の子どもたちによる歓迎や物産展、

壱岐牛・アスパラの試食等によるおもてなし、また産業行政視察等も行われ、本市のPRに繋がったところでもあります。

この度、本市での開催を実現していただきました中村知事をはじめ、ご尽力いただきました関係者皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後も、このようなイベントや会議等の壱岐市開催について取り組んでまいります。

(2) まちづくり協議会の推進について

市民皆様が主体となった協働のまちづくりの実現に向けて、小学校区を単位とした、まちづくり協議会の設立を進めております。

現在まで、行政区設置検討委員会において、「壱岐市まちづくり協議会集落支援員設置要綱」、「壱岐市地域協議会設置要綱」、「壱岐市まちづくり協議会推進計画」を策定し、まちづくり協議会の設立に向けた準備が整った状況にあります。

まちづくり協議会の設立に向けては、地域住民皆様のご理解と地域内における十分な協議が必要でありますので、先般開催いたしました各4町の自治公民館長会議を始め、要請があった地域については、職員が説明に出向き、浸透を図ってまいりました。

現在、小学校区を単位とする説明会を開催しておりますが、複数の地域においては、既に幹事会が立ち上がっており、集落支援員の募集を行った地域もあります。

今後も、SDGs未来課を中心に、職員総力を挙げて、まちづくり協議会設立に向けた取組を進めてまいります。

(3) SDGs (エスディーズ) の推進について

SDGsの推進については、島内での認知度向上に努めるため、今年度の「壱岐なみらい創りプロジェクト」をSDGs対話会として実施し、SDGsに関する説明を行い、本市の未来について参加者の皆さんで考えていただく機会を作るとともに、市内の各種団体や企業等へも周知を行い、行政だけでなく、すべての人に当事者意識を持っていただけるよう情報発信を行ってまいります。

また、今年度は市内2つの中学校において、「住み続けたいまちづくり運動」と題して総合学習の時間にSDGsをとり上げ、自分たちの将来、壱岐の未来について、子どもたちが考えた将来の壱岐のあるべき姿を大人へ伝える機会を設けることとしております。

8月8日には、北九州市において、九州地区からSDGs未来都市に選定された「北九州市・熊本県小国町」との連携事業として「SDGsフォーラム」を共同開催いたします。中高生のSDGsに関する普及活動や3市町のモデル事業の進捗状況等を発表し合うとともに、地域間連携による九州地区におけるSDGsの推進を呼びかけることを目的とし、本市からも、島内の高校生が登壇する予定であります。

今後も、あらゆる機会を通じて、SDGsの浸透を図るとともに、モデル事業を着実に推進してまいります。

2. 災害復旧

(1) 農地・農業用施設等災害復旧について

平成29年に発生した大雨による農地・農業用施設等災害復旧工事については、国庫補助金交付決定箇所526地区中、昨年度までに242地区で46%が完成している状況であります。今年度は、現時点で158地区を発注し、残り126地区となっております。また、平成30年に発生した64地区については、平成29年災の発注完了後に、営農状況等を考慮して順次発注する予定としております。

(2) 公共土木施設災害復旧事業について

平成29年に本市で発生した公共土木施設災害については、同年12月から工事発注を行い、順次復旧を進めております。現在までの進捗状況は、国庫補助災害279箇所全てを工事契約し、内237箇所が完成しております。その他単独災害についても、84箇所中75箇所を契約し、内40箇所が完成しております。

平成30年発生災害は、国庫補助災害28箇所でありましたが、6月中に工事発注を行い、順次復旧を進めてまいります。

3. 交流人口の拡大

(1) 観光振興について

本市の観光動向の指標となる長崎県観光統計調査については、現在、集計中であり、あくまで速報値でございますが、平成30年の年間観光客延べ数は、38万4,809人、対前年比0.1%減、観光客

実数は23万548人、対前年比2.3%減であり、これは昨年6月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録され脚光を浴び、本市への来島が減少したことが大きな要因と分析しております。しかしながら、滞在型観光の促進により、平均宿泊数は1.33泊、対前年比8.1%増、延べ宿泊客数15万4,261人、前年比3.5%増、観光消費額56億5,442万5千円、前年比3.2%増となっております。

史上最長の超大型連休となった今年のゴールデンウィークには、多くの観光客にご来島いただき、市内各所が賑わいました。

来年3月に開館から10周年の節目を迎える一支国博物館は、本年5月9日、入館者数95万人を達成し、島内外から多くの方々にご来館いただいております。

また、連休前の4月25日にリニューアルオープンした「壱岐イルカパーク&リゾート」は、10連休期間中6,327人の皆様にご来園いただきました。4月23日に開催したオープニングセレモニーでは、テレビ、雑誌など多くのメディアにも取材いただき、その効果もあり、5月末時点の入園者数は、約8,745人、内島外から4,512人のご来園をいただいております。

一方、残念な出来事として、5月3日にイルカの死亡事故が1件発生しております。個体には目立った外傷等はなく、解剖時点では肺炎の可能性が見受けられるとの診断を受けており、現在、細胞を採取し、精密検査を依頼しております。

今後、夏の観光シーズンに向けて、指定管理者とともに、さらな

るサービスの充実と、しっかりとした飼育管理、施設管理体制を構築し、より多くの皆様が足を運んでいただける本市の観光の目玉となるよう努めてまいります。

次に、福岡よしもと所属の^{ことぶき かずみ}寿一実、ケン坊田中、コンバット^{まん}満、高田課長の4氏を、去る2月28日、壱岐市観光大使に委嘱しました。今回ご就任いただいた4名の皆様は、福岡市を中心に活動されており、早速、4月30日、よしもと天神ビブレホールで行われたお笑いライブにおいて、壱岐の観光と特産品のPRを行っていただきました。

また、5月12日から17日までの6日間、バスケットボール女子日本リーグ(Wリーグ)で昨季準優勝を飾った「三菱電機コアラーズ」の皆様17名に、壱岐での春季キャンプを実施していただきました。滞在期間中には、市内女子中学生選手を対象としたバスケットボールクリニックを開催していただくなど、一流に学ぶ素晴らしい機会も提供していただきました。選手の皆様からは、合宿地として高評価をいただいております、来春以降も継続して本市を選定していただけるよう積極的に取り組んでまいります。

(2) 壱岐サイクルフェスティバル2019について

6月9日に開催された壱岐サイクルフェスティバル2019については、島内外から549名の選手がエントリーされ、関係者などを含め多くの皆様にご来島いただきました。当日は、一部交通規制を行い、市民皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。壱岐市消防団をはじめ多くの皆様のご協力により、大きな事故等も無く盛

会裏に終了することができ、改めて厚くお礼申し上げます。

4. 産業の振興

(1) 農業の振興について

畜産においては、全国的な繁殖農家の高齢化や離農による子牛販売頭数の減少などにより、子牛価格の高騰が続いておりますが、本市の平成30年度の子牛平均価格は82万5千円と前年比1万2千円の減となり、子牛出荷頭数も、4,070頭で前年度より174頭の減となったことから、畜産販売高全体では47億3千万円で前年より3億円減となりました。6月1日、2日に開催された子牛市では、平均価格が4月市と比較し、1頭当たり1万5千円高の81万6千円となっており、県内の他地区が下げ傾向の中、依然高い水準を保っております。一方、6月3日に開催された成牛市においては、202頭が入場しており、繁殖雌牛の減少が危惧されるところでありますが、昨年度からの繰越となった4棟と今年度3棟の牛舎建設を予定されており、計画ベースでは216頭の増頭が見込まれているところであります。また、壱岐市農業協同組合による繁殖牛7,000頭の早期達成と更なる増頭意欲向上を目的に壱岐市和牛振興大会並びに令和4年の全国和牛能力共進会への機運を高めるため、壱岐市和牛共進会が開催される予定であります。

葉たばこについては、移植後は天候に恵まれ、病虫害の被害も極めて少なく順調に推移しております。今後の水不足が心配されますが、豊作を期待しているところです。

水稻については、高温耐性品種への転換が進んでおり、「つや姫」、
「にこまる」、「なつほのか」の占める割合は全体の約55%に達し
ておりますが、今年度は5月に入って降水量が極端に少なく、水不
足による被害が心配されます。加えて、アスパラガス、かぼちゃ、
加工用玉ねぎ等の他の作物にも水不足による被害が心配されますの
で、関係機関と連携して管理指導等を行ってまいります。

林業については、本年度国の税制改革において、森林の整備等に
使用する森林環境譲与税が創設されました。森林の間伐や人材育成、
担い手の確保、木材利用の促進等の森林整備等に活用するため、今
回、森林環境譲与税基金条例の制定について議案を提出しておりま
す。

(2) 水産業の振興について

平成30年4月から平成31年3月までの市全体の漁獲量及び漁
獲高を前年と比較いたしますと、漁獲量は14.2%減の2,750
トン、漁獲高は4.5%減の26億4千6百万円と漁獲量、漁獲高
ともに減少しており、漁家及び漁協の経営に深刻な影響を与えてい
ます。主な要因としては、水産資源の減少や漁場環境の悪化等によ
る全国的なスルメイカの不漁やクロマグロの資源回復のための漁獲
抑制、台風などの天候不良、磯焼けによる藻場の消失などが考えら
れます。

このような中、水産業の振興を図るため、有人国境離島法による
魚介類の海上輸送費を助成する輸送コスト支援事業や漁業用燃油対
策事業、藻場の回復を目的とした磯根資源回復促進事業、「壱岐市ふ

るさと商社」を活用して販路の拡大を目指した商品の開発や掘り起こしなどに取り組んでおります。その中でも本年度から実施しております磯根資源回復促進事業につきましては、4月から5月にかけて、1,500尾を越えるイスズミが捕獲されており、引き続きイスズミ駆除を推進してまいります。

今後も漁業者の皆様そして各漁協をはじめ関係機関と連携し、各種施策に積極的に取り組んでまいります。

また、意欲ある担い手育成支援事業の認定漁業者については、現在154名を認定しており、県の次代を担う漁業後継者育成事業による漁業新規就業者は3名が研修中であり、今後も制度の積極的な活用により漁家経営の改善、新規就業者の確保に繋げていただくことを期待しております。

(3) 商工業の振興と雇用対策について

雇用対策については、新規卒業生の島内就業を促すため、ハローワーク及び壱岐振興局と連携を図り、商工会への「早期求人申込」と「魅力ある職場づくり」への取組をお願いするなど、企業説明会や職場体験等を毎年実施しております。また、本年度、新たな取組として、企業向けの採用力アップセミナーを6月11日に開催いたしました。今後も、有人国境離島法の雇用拡充事業や新規高卒者等の地元就職を支援するふるさと就職支援事業の取組等、雇用対策に取り組んでまいります。

農水産物の輸送経費支援につきましては、有人国境離島法により既に実施しておりますが、本年度から離島活性化交付金を活用し

て、本市の経済と雇用の活性化に寄与している焼酎など4品目を戦略産品として指定し、製品の移出と原材料の移入に係る海上輸送費の支援を開始いたしました。現在、13事業者にご活用をいただいております。地元企業を積極的に支援することによって、地域の活性化及び定住促進を図ってまいります。

壱岐しごとサポートセンター（I k i - B i z）については、開設から2年を迎えようとしておりますが、平成30年度の実績としまして、目標相談件数500件に対しまして、新たに96社の事業者の皆様を含めて720件の相談をいただき、リピート率も89.6パーセントの実績となっております。今後とも、相談業務をはじめ、イキビズが行う様々なサポートの質の向上、イキビズの知名度向上を目指し、本市の経済浮揚に向けて、積極的に取り組んでまいります。

壱岐市ふるさと商社についても、開設から2年を迎えようとしておりますが、平成30年度の実績として、目標売上額2,000万円に対し、2,940万円の実績となっております。今月は、大阪及び東京での物産展を開催することとしており、今後も引き続き、壱岐産品の販路拡大に積極的に取り組んでまいります。

5. 市民

（1）市税等の収入状況について

平成30年度の市税の収入状況については、現年度分は、調定額22億4,459万円に対し、収入額 22億913万円で、収納

率は98.42%、前年度98.38%を0.04ポイント上回りました。

滞納繰越分は、調定額 2億5,591万円に対し、収入額は3,357万円で、収納率は13.12%、前年度7.66%から5.46ポイント上回りました。

一方、国民健康保険税については、現年度分が、調定額 6億8,912万円に対し、収入額 6億5,299万円で、収納率は94.76%、前年度94.78%を0.02ポイント下回りました。

滞納繰越分は、調定額 2億5,179万円に対し、収入額は3,005万円で、収納率は11.94%、前年度14.83%を2.89ポイント下回りました。

以上が平成30年度市税等の収入決算額であります。

国内の景気は、米中貿易摩擦の激化による中国経済の減速によって大きな影響を受けつつあり、県内の経済情勢についても、人手不足の影響や海外経済の不確実性などに留意する必要があるとされています。

本市においても、基幹産業である第一次産業において、子牛販売における平均価格の高値が続く一方で、漁獲量、漁獲高の減少等の不安な要素もあり、市税等の徴収を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。今後、納税意識の高揚に努めるとともに、納税者皆様へのきめ細かい制度説明を行い、市民皆様や自治公民館長の皆様の納税に対するご理解、ご協力を賜りながら、市税等の収入

確保に努めてまいります。

また、滞納繰越分の徴収対策については、納税相談の強化や県と市の連携・協働による滞納整理を徹底し、累積滞納額の縮減に向けて取り組んでまいります。

市行政の基幹財源である税の確保と公平・公正な税務行政の実現に向けて、引き続き取り組んでまいりますので、市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

(2) プレミアム付商品券事業について

本年10月の消費税・地方消費税率の引き上げによる消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付き商品券の発行を行うことになり、今回、所要の予算を計上いたしております。今後、円滑な事業の実施に向け、準備を進めてまいります。

(3) 壱岐こどもセンターについて

壱岐こどもセンターについては、今年4月からセンター長、看護師、保健師の正規職員を3名配置するとともに、新たに嘱託職員を1名採用し、職員体制を強化しました。

昨年度マンパワーの不足等によって休止していた子育て支援事業も再開しており、今後は関係機関との連携を更に強化し、職員のスキルアップを図りながら、療育や子育て支援事業などの充実に努めてまいります。

(4) 壱岐葬斎場の改築について

壱岐葬斎場改築工事については、周辺地域皆様のご理解とご協力

をいただき、現在地での建替えを進めており、現在工事に着手いたしております。

現施設を稼動させながら駐車場へ新施設を建設するため、新施設完成後に現葬斎場の解体及び駐車場整備・進入道路改良工事等を行うこととしており、その間駐車スペースが20台程度と限られるため、市民皆様には大変ご不便をおかけしますが、整備完了までの間、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

6. 教育

(1) 教育施設的环境整備について

市内学校施設の空調設備及びブロック塀安全対策事業については、前会議で繰越明許費の議決をいただき、空調設備を制限付一般競争入札にて実施し、5月27日に契約締結いたしました。昨年の市議会12月会議での行政報告において、6月末を目標に取り組むとしておりましたが、諸般の事情で幼・小・中学校全体の設置が完了するのが7月25日となる見込です。

また、ブロック塀安全対策事業については、3月29日に「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」の交付決定があり、今回、追加補正及び繰越明許費の増額を行っております。

次に、芦辺中学校校舎改築及び改修工事については、前会議で3カ月程度の遅れがあることから、繰越明許費の議決をいただき、7月末完成としておりましたが、さらに遅れが生じたため8月末の完成となり、2学期から新校舎で授業を開始することになります。

7. 防災、消防・救急

(1) 防災対策について

これから、本格的な梅雨、そして台風の時期となりますが、ここ数年、全国で豪雨による大規模災害が続発しており、気象庁の統計でも、全国の1時間降水量50ミリ以上の年間発生回数が増加傾向にあります。

このような状況を踏まえ、関係機関や団体から参加をいただき、5月31日に島内危険箇所の防災パトロールを実施いたしました。今後も、関係機関等と十分に連携を図り、災害対策に万全を期してまいります。

市民皆様には、日頃の備え、避難場所の確認など、今一度、防災対策の確認をお願いいたします。

(2) 消防・救急について

本年5月末現在の災害発生状況は、火災発生件数16件、救急発生件数722件となっており、昨年同期と比較しますと、火災は2件の減、救急は13件の減となっています。

今後、気温の上昇とともに、熱中症による救急搬送の増加が危惧されます。屋外での作業等の折には、こまめな水分補給を行っていただき、また、室内においても室温や湿度が高くなることで熱中症になる恐れがありますので、エアコンや扇風機等を有効に使用し、体調管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。

8. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出した令和元年度補正予算の概要は、

一般会計補正額 3億8,200万円

各特別会計の補正総額 170万7千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正

額の合計は、 3億8,370万7千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

240億5,200万円

で、特別会計については、 85億6,129万2千円

となっております。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、平成30年度予算の専決処分
の報告2件、予算の繰越明許費繰越計算書の報告3件、条例の
制定・改正に係る案件5件、計画の策定・見直し2件、令和元年度
予算案件2件でございます。

何とぞ十分にご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますよう
お願い申し上げます。

9. おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等につ
いて申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、

全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月13日

壱岐市長 白川博一